

# ●高岡城関連文書一覧表

※青色(37点)は一次史料／20231206 仁ヶ竹

No.	史料名	年代	摘要	掲載史料	所蔵者
1	徳川家康書状写(前田利長宛)	〔慶長14年(1609)〕 4月6日付	富山大火の火事見舞いと、新城地は「何方にても其方次第」と許可。秀忠にも許可させる。(使者は宮崎蔵人)	『加藩国初遺文』巻八／(『富山県史 史料編Ⅲ 近世上』二三九号)	金沢市立玉川図書館 近世史料館
2	前田利長書状(小塚秀正宛)	〔慶長14年(1609)〕 4月12日付	上記の使者が駿河より帰り次第、まず最初に木町に町割りを指示	『高岡の文化財(図録)』高岡市教育委員会、1983、p117／『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p36	木町神社(高岡市) 【市文】
3	篠原一孝等連署状(中条村又右衛門宛)	〔慶長14年(1609)〕 4月16日付	木材は五箇山より伐り出すように命令を受け、近在より手伝人足の徴発を指示	『富山県史 史料編Ⅲ 近世上』二四〇号	富山県公文書館
4	前田利長書状写(神尾之直・稲垣與右衛門宛)	〔慶長14年(1609)〕 4月22日付	城取図に城下町における年寄どもの屋敷割図を添付して提出せよと指示	『大日本史料』第十二編之六等／『富山県史 史料編Ⅲ 近世上』二四一号	
5	松平泰(康)定書状写(富田弥三右衛門宛)	慶長14年(1609) 4月28日付	富田家は利長と共に守山、富山に住んだ町人で、その後関野に家立てを命じられた。町人の移住を示す史料	『高岡町人由緒記』／(『高岡城跡 詳細調査報告書』(以下「報告書」)5号文書、p41)	金沢市立玉川図書館 近世史料館
6	徳川秀忠書状(前田利長宛)	〔慶長14年(1609)〕 5月1日付	秀忠が高岡城普請の許可を芳春院に伝えたので利長に直接伝えていなかった。普請が開始されてないことを知ったので、早々に開始せられよ		高岡市立博物館
7	前田利長書状(直江大□□(「和守」カ／本多政重)宛)	〔慶長14年(1609)〕 5月付	家康・秀忠に「やしきがまへ」(高岡築城)許可を仲介の本多正信・正純への礼。直江姓は16年頃迄、大和守は14年に安房守となる	「本多氏古文書」『加賀藩史料 第貳編』p205(慶長19年5月条／宛先「直江大□□殿」なし)	個人
8	前田利長書状写(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 5月5日付	「高おか」の絵図を受け取り満足した。これでよいと承認している。「高おか」の初出史料)	『神尾文書』一／(「報告書」6号文書、p41)	金沢市立玉川図書館 近世史料館
9	先祖由緒・前田利長書状写(徳永平左衛門・川上次郎四郎宛)	〔慶長14年(1609)〕 5月6日付	柱・天井板など、高岡築城に関わる史料と考えられる。川上家は旧来より利長に材木等を献上していた。	『高岡町人由緒記』／(「報告書」7号文書、p41-42)	金沢市立玉川図書館 近世史料館
10	前田利長書状(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 5月17日付	地鎮祭を俱利伽羅明王院に命じて行った旨を母・芳春院に報告	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p26／「報告書」8号文書、p42	(公財)前田育徳会
11	前田利長書状写(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 5月28日付	高岡移転の状況を記したものと推察される史料。高岡に屋敷を与え、富山の家屋敷の撤去を命じている	『神尾文書』二／(「報告書」35号文書、p42)	金沢市立玉川図書館 近世史料館
12	前田利長書状写(山崎長徳宛)	〔慶長14年(1609)〕 6月9日付	「とほり」の普請がやがて完成することを山崎閑斎(長徳)へ通知	『高岡史料』上巻、p15／「報告書」9号文書、p42	
13	前田利長書状写(山崎長徳・青山吉次宛)	〔慶長14年(1609)〕 6月16日付	本丸御殿書院の柱は秋田より取り寄せるように越中の大工に申しつけるように指示	『加賀藩史料』稿本三十七冊目／(「報告書」10号文書、p42)	金沢市立玉川図書館 近世史料館
14	前田利長書状(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 7月2日付	2人の側近(神尾之直と松平康定)の屋敷の位置を指示し、野絵図2部の提出を命令	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p31／「報告書」11号文書、p42	(公財)前田育徳会
15	前田利長書状(市一□・五□宛)	〔慶長14年(1609)?〕 7月2日付	櫓の釘数・錠などについて「くろかね」奉行への申付け	相川豊男旧蔵歴世親翰文書(瑞龍公 坤 175番)／(「報告書」「写真図版一 古文書1」)	(公財)前田育徳会
16	前田利好判物写(新飯田八郎左衛門・山田村之内院内百姓中宛)	〔慶長14年(1609)〕 7月9日付	「高岡御用之御ふる屋」の材木(かやの木)調達を指示。「御急用之事」	『七尾』四七八号「能登古文書七」	
17	前田利長書状(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月3日付	修理指示をした「しん丸」が未だ着工していないと聞いた。平夫に申し付けるように指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p26／『富山県史 史料編Ⅲ 近世上』二四四号	(公財)前田育徳会
18	前田利長書状(松平康定・神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月5日付	8月25から29日の間に入城(移徙)するので釣輿の用意と大川では多数の舟、小川では舟橋をかけるように指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p27	(公財)前田育徳会
19	前田利長書状(松平康定・神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月8日付	工事が遅延につき来月4～5日頃に入城延期し、本丸普請は横山長知・篠原一孝と相談しながら行うように指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p27	(公財)前田育徳会
20	前田利長書状(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月8日付	9月5～6日頃の入城予定を普請奉行達へ通達。本丸は鷹部屋・厩より叩き土居・塀の優先を指示。9月3～7日の内で吉日を選び直してもよいと命令	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p28	(公財)前田育徳会
21	前田利長書状(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月13日付	築城工事が遅延しているようなので奉行へ通知し、毎日現場へ出るように命令	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p28	(公財)前田育徳会
22	前田利長書状(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月15日付	入城日は法印より9月13日が吉日と報告があり決定したので、人足・牛などの準備を指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p29	(公財)前田育徳会
23	前田利長書状(つるミ三十郎宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月16日付	(庄川)大水のため奉行を派遣	高瀬保『加賀藩海運史の研究』雄山閣、1979／『中田町誌』1968、p50	個人
24	前田利長書状写(神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月22日付	高岡では知行の高い家臣ほど城の近くに屋敷を建てるように指示	『大日本史料』第十二編之六等／(「報告書」18号文書、p43)	
25	前田利長書状(松平康定・神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)?〕 8月25日付	城の周囲、支配の関係について	相川豊男旧蔵歴世親翰文書(瑞龍公 乾 16番)／(「報告書」「写真図版一 古文書2」)	(公財)前田育徳会
26	前田利長書状(神尾之直・松平康定宛)	〔慶長14年(1609)〕 8月26日付	三ヶ国の者共により完了していた本丸「つきどめ」の石垣が崩れてしまった。塀・土橋が出来次第に人足を返すから建築工事を督促	『加賀藩史料 第貳編』p52／「報告書」「写真図版一 古文書2」	(公財)前田育徳会
27	前田利長書状(松平康定・神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 9月5日付	移徙は9月13日に決定。それまでに、加賀よりの人足の帰国を指示したが、3分の1は残すように指示	『富山県史 史料編Ⅲ 近世上』二四五号／『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p29	(公財)前田育徳会
28	前田利長書状(宛所不明)	〔慶長14年(1609)〕 9月6日付	庄川流木の拾い上げの禁止	高瀬保『加賀藩海運史の研究』雄山閣、1979	井波町役場文書
29	前田利長書状(奉行とも宛)	〔慶長14年(1609)?〕 9月7日付	金沢より石切りを雇うことなどを指示	相川豊男旧蔵歴世親翰文書(瑞龍公 坤 163番)／(「報告書」「写真図版二 古文書1」)	(公財)前田育徳会
30	前田利長書状(神尾之直・稲垣與右衛門宛)	〔慶長14年(1609)〕 9月8日付	9月8日に広間・台所等は完成したが、城内に屋敷を与えた者の塀・土居がまだなので、せめて台所までの道の優先を指示	『高岡史料』上巻、p21／『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p30	(公財)前田育徳会
31	前田利長書状写(松平康定・神尾之直宛)	〔慶長14年(1609)〕 9月11日付	入城は明後日だが女乗物がまだ届いてないので、明日までの用意を指示	『大日本史料』第十二編之六等／「報告書」22号文書、p44	

32	前田利長書状(神尾之直宛)	[慶長 14 年(1609)] 9 月 18 日付	二の丸の門や隅櫓 2 つの増築を御大工橋本宗右衛門に命令しており、それ以外の工事はない。(入城 5 日後)	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p30/「報告書」23 号文書、p44	(公財)前田育徳会
33	前田利長書状(駒井守勝宛)	[慶長 14 年(1609)] 9 月 23 日付	高岡町奉行は小塚淡路に申し付けたが加州へ行っている、その方に町中の事「ようとう(用途カ)」申し付ける	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p31	(公財)前田育徳会
34	前田利長消息(鈴木権介宛)	[慶長 14 年(1609)] 10 月 9 日付	二の丸に鈴木屋敷を置きたい。「丸の内」「馬屋のある曲輪」や「東の丸」もその候補として記載。この時点での本丸普請も未完了とわかる。	萩原大輔「高岡築城に関する前田利長消息(「篠島家文書」)の紹介と考察」『論集 富山城研究』3、2020	個人(石川県立歴史博物館保管)
35	せんふく書状写(神主豊後宛)	[慶長 14 年(1609)] 10 月 11 日付	10 月 1 日に高岡関野神社の神職・関豊後に新城の祈祷をさせる。その際に拝領した狩衣の礼は利長に伝えた	『加賀藩史料 第式編』(「高岡関野神社主関氏旧記」)p57	
36	前田利長書状(神尾之直宛)	[慶長 14 年(1609)?] 10 月 23 日付	壁塗甚三郎が死んでしまったので、その弟子兩人を雇うことを指示	相川豊男旧蔵歴世親翰文書(瑞龍公 乾 57 番)/「報告書」写真図版二 古文書 2」	(公財)前田育徳会
37	前田利長書状(駒井守勝宛)	[慶長 14 年(1609)] 10 月 26 日付	高岡城への詰夫は加賀から 2 人であったが一人を返したので、その代わりに放生津より扶持方切米を取らせるよう指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p32/「報告書」25 号文書、p44	(公財)前田育徳会
38	前田利長書状(神尾之直宛)	[慶長 14 年(1609)?] 10 月 28 日付	「たんこ(村井丹後守か)が献上した「ちやう木」を取り寄せ木町までの回漕を指示	相川豊男旧蔵歴世親翰文書(瑞龍公 乾 46 番)/「報告書」写真図版三 古文書 1」	(公財)前田育徳会
39	前田利長書状(神尾之直宛)	[慶長 14 年(1609)?] 12 月 8 日付	小屋掛けが出来たことなど	相川豊男旧蔵歴世親翰文書(瑞龍公 坤 115 番)/「報告書」写真図版三 古文書 2」	(公財)前田育徳会
40	前田利長書状写(長右宛)	[慶長 14 年(1609)]	堀の完工箇所を確認	『加藩国初遺文』巻七	金沢市立玉川図書館近世史料館
41	前田利長書状(小塚秀正宛)	[慶長 14 年～15 年(1609～10)頃] 12 月 24 日付	木町湊の川手の柵(しがらみ)等のための材木 865 本の代銀 216 匁を支払い	『高岡の文化財(図録)』高岡市教育委員会、1983、p118/『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p36	木町神社(高岡市)
42	前田利長書状(駒井守勝他一名宛)	[慶長 14 年～16 年(1609～11)頃] 5 月 30 日付	砺波郡西部金屋(高岡市戸出)より鋳師を高岡金屋町へ招聘。同時に山田与兵衛の屋敷についての指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p39/「報告書」28 号文書、p44	高岡市立博物館
43	前田利長書願文写	慶長 15 年(1610) 4 月付	高岡新城が成就したが干水害により不作となり人心が乱れているので、神主関正盛に稻荷神に國中静謐を祈祷させた	『松雲公採集遺編類纂』105(高岡稻荷社文書)/「報告書」29 号文書、p44)	金沢市立玉川図書館近世史料館
44	前田利長書状(中や・久右宛)	[慶長 15 年(1610)頃] 8(4?)月 29 日付	焼き物の皿、漬物の壺を取寄せてもよい	『高岡の文化財(図録)』高岡市教育委員会、1983、p119/『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p37	木町神社(高岡市)
45	奥村長兵衛奉書(川上次郎四宛)	[慶長 15～19 年(1610～14)頃]3 月 4 日付	広間の柱は宗貞と相談し、面 7～8 寸と好み、長さ 3 間と好み、それ以下でもよい。長さ 9 尺の垂木は檜でも五葉松でも節の無いもの 50 を依頼。厚さ 2 寸 5 分。こちらの用は天井板についてである		個人
46	奥村長兵衛奉書(川上次郎四郎宛)	[慶長 15～18 年(1610～13)頃]6 月 11 日付	利長様肝煎の天井板は満足された。殊に信州で調達したことを感心されておられた		個人
47	前田利長書状(大井五左衛門宛)	[慶長 15～18 年(1610～13)頃]12 月 〇日付	能登の町奉行に依頼して、今夏取り寄せた松板や炭の対価について		個人
48	前田利長書状(駒井守勝宛)	[慶長 15～19 年(1610～14)頃]3 月 5 日付	放生津に納められた年貢米を、高岡の各町々に払米するように。代金は早く納めるように指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p32	(公財)前田育徳会
49	前田利長書状(駒井守勝宛)	[慶長 15～19 年(1610～14)頃]3 月 5 日付	放生津に納められた年貢米を、高岡の各町々に払米するように。代金は早く納めるように指示	『特別展 前田利長展』高岡市立博物館、1990、p32	(公財)前田育徳会
50	前田利長書状写(村々肝煎中宛)	慶長 16 年(1611) 8 月 25 日付	高岡城内の畳 92 畳分の各種の菰を村々へ割り付け	『有賀家文書』一(高岡市・塩崎種資旧蔵)/「報告書」30 号文書、p44)	金沢市立玉川図書館近世史料館
51	前田利長書状写(近所村々百姓中宛)	慶長 17 年(1612) 3 月 29 日付	城内書院の廊下用の畳の菰 57 畳分の割付け状	『有賀家文書』一(高岡市・塩崎種資旧蔵)/「報告書」31 号文書、p44-45)	金沢市立玉川図書館近世史料館
52	前田利長書状(種村肖稚寺宛)	[慶長 15～19 年(1610～14)頃]4 月 3 日付	城門建設工事のため仮小屋をかけた	『特別展 小松と前田家』小松市立博物館、p11/「報告書」32 号文書、p45)	小松市立博物館
53	せんふく書状写(関正盛宛)	(慶長期)2 月 15 日付	神明社の辺りに宮を移転させ、新領を与えて金子を遣わしている	『松雲公採集遺編類纂』105(高岡稻荷社文書)/「報告書」33 号文書、p45)	金沢市立玉川図書館近世史料館
54	前田利長書状写(神尾之直宛)	(慶長期)4 月 1 日付	高岡城に関わるものとは断定できないが、城廻りの普請をしないよう命じている。普請停止の理由は不明	『神尾文書』二/「報告書」34 号文書、p45)	金沢市立玉川図書館近世史料館
55	前田利長訴状案写(本多正信・正純宛)	慶長 19 年(1614) 2 月 18 日付	高岡城を利光(利常)に破却させ、利長隠居領・同亀谷鉛山を幕府に任せ、京都隠棲を願い出る	「本多氏古文書」(『加賀藩史料 第式編』)、『金沢市史 資料編三』七一	
56	前田利光覚書(前田長種・奥村栄頼)	慶長 19 年(1614)6 月付	利長隠居領 16 万石、亀谷銀山、高岡城、三ヶ国御黒印、三ヶ国御仕置等の案件につき、利光が老臣に処置を検討させる	「本多氏古文書」(『加賀藩史料 第式編』p227)	個人
57	前田利光書状写(奥村易英宛)	(慶長 19～20 年) 6 月 8 日付	玉泉院の金沢屋敷の用材は高岡の「おうゑ長屋」の解体移築を指示。普請の者は岡島備中が 3 分の 2 を出すように指示	『御歴代御書写』/「報告書」42 号文書、p45)	金沢市立玉川図書館近世史料館
58	津田宇兵衛書状写(村井又兵衛宛)	文政 4 年(1821) 7 月 23 日付	高岡城跡の門の冠木に用いる椽を新川郡より伐り出す件について、関係奉行へ通達してほしいと願い出ている	『御郡方御仕法一件』/「報告書」43 号文書、p45)	金沢市立玉川図書館近世史料館

## 【出典】

- ・表中の「掲載史料」記載の各資料
- ・仁ヶ竹亮介「高岡城関連文獻史料一覧表」『高岡城跡詳細調査報告書』(高岡市教委、2013)
- ・仁ヶ竹亮介「城下町高岡の形成・変容」『城下町科研・金沢研究集會 資料集/中近世移行期前田家領国における城下町と権力』(同会実行委、2016)